

真田図書館サポーターだより 第16号

真田塾開催報告

私たちの住む地域の自然、文化、歴史、人等について学び、自らの生活課題の研究・解決を図ることを目的に継続的に開催している真田塾ですが、上半期は3回開催しました。

第1回真田塾は山家神社宮司の押森慎氏をお迎えし、「維時(ときをつなぐ) ~ときをつなげる真田のさと~」と題しての講演でした。県外からの聴講者もいる中、神社での作法やしきたり、山家神社の歴史、四阿山のこと、真田氏のことなど多岐にわたるお話をして頂きました。

講演の中で押森宮司から郷生、共生という言葉が何度も出てきましたが、真田への郷土愛、人と人とのつながりを大切にしていることが感じられる、とても温かな真田塾でした。講演の最後には雅楽の演奏も披露して頂きました。



< 雅楽の演奏をする山家雅楽会の皆さん >



< 講演中の市場先生 >

第2回真田塾は管理栄養士の市場祥子先生をお迎えし、「健康長寿の推進と和食の重要性 ~命の源の食を守る食育基本法が願うこと~」というテーマでの講演でした。市場先生は上田市内の学校の管理栄養士として長年子どもたちの成長を支えてこられ、また、全国学校栄養士協議会会長なども歴任されている方です。長年学校給食に携わってきた経験を踏まえて大変熱のこもった一言一言が胸に落ち、気づきの多い講演会となりました。改めて人にとっての食の重要性を考えさせられました。

第3回真田塾は趣向を変えて、俳優大野泰広さんのトークイベントでした。大野様は大河ドラマ「真田丸」で真田信幸公の側近・河原綱家公役を好演された俳優さんです。「真田丸」ではカメラテストから参加し、レギュラーに抜擢された40歳のシンデレラボーイとして注目されました。今回のトークイベントは河原綱家公のお墓が旧真田町の石舟自治会にあることなどから、開催されることとなりました。長谷寺の宮下俊哉ご住職を対談者に迎えての対談は、笑いが絶

えないとても楽しいイベントでした。大野様の楽しく、温かい人柄に加え、真田丸撮影時の裏話や、共演者とのエピソード等等、まだまだ真田丸ロスを抱えている私たちにとって大変楽しい一時でした。



<大野さん、宮下さんの対談の様子>

コンサート「木管室内楽の夕べ」

9月22日(土)、図書館1階のコミュニティスペースで恒例の図書館コンサートを開催しました。

今年のコンサートは、昨年に引き続き、真田地域出身の音楽家三井崇裕さん(クラリネット)とそのお仲間の春山竜也さん(ファゴット)、久保一麻さん(オーボエ)の木管三重奏のコンサートでした。

三井さん、春山さんは今回で3回目の出演で、久保さんには初めて出演して頂きました。来場者



<右から三井崇裕さん、春山竜也さん、久保一麻さん>

のアンケートでは、「懐かしい曲がたくさん入っており、昔のことが

思い出され、涙がこぼれました。」「美しい木管の響きを間近で楽しむことができとても良かったです。」「夏の終わり、初秋の夕べ、クラリネット、ファゴット、オーボエの心温まる音色、こころ豊かになりました。」等の感想をいただきました。いつも感じるのですが、図書館でのコンサートは、スペースや、音響、照明設備等いろいろな制約がありますが、何といたっても演奏者の息づかいがわかるくらい間近で生演奏を楽しむことができるのが魅力だと思います。また、不思議なのですが、楽器の音もとてもよく響いて心地よいです。

新人サポーターさん紹介

昨年度 10 月と 2 月に開催したボランティア養成講座を受講され、この春から本格的に図書館サポーターとして活動されています、中曽根克己さん、遊さんご夫妻を紹介します。

自己紹介の文章を寄稿していただきましたので、掲載します。

「サポーターになりました」

中曽根克己・中曽根遊

今年の春からサポーターになり配架を担当しています。静かな環境の中で気持ちが集中するのが良いです。

後期高齢者の仲間入りをするようになると外部との接触が目に見えて減ってきました。これまで長野県や上田市が主催する高齢者学園に参加してきましたが、今回は別の方法で社会とのつながりを持つと考え、かねてからサポーター募集の案内を見て知っていた真田図書館サポーターに応募しました。

今回は本を読むことが好きにつれあいに声をかけたところやってみたくて二人での参加となった次第です。

はじめて半年ほどでようやく配架場所がわかってきたところです。司書の方々には笑顔で接していただき気持ちよく参加させていただき感謝しています。

私は本を読むのが好きというよりは本の形が好きなのです。このため以前は製本教室に通っていたこともあり本に関する本をコレクションしています。

ちなみに「美しい本」あるいは関連するタイトルの本は以下のような本が本棚にありました。

美しい本の話(庄司浅水)、美しい書物の話(アラン・G・トマス)、本の美しさを求めて(関川左木夫)、世界の美しい本(グラフィック社編集部編)、本の美(別冊太陽 53)、BOOKS BEAUTIFUL(荒俣宏)、イギリスの美しい本展カタログ、本の装釘=用の美(沖積舎)、美しい本の世界(東京エディトリアルセンター)、美しい本(ケルスティン・ティニ・ミウラ)、装幀の美(同朋舎)

これらの本から本を読むということに加えて本の形の美しさに思いをはせてみてはいかがでしょうか。



< 配架する中曽根克己さん >

図書館で職場体験

7月10・11日に真田中学校の2年生、西田姫乃(ひめの)さん、金井真綺(まさき)さん、石塚奏汰(かなた)さんの3人が図書館で職場体験をされました。本の配架や書架整理、カウンター業務、本の装備、本を紹介するポップ作りなどを行いました。後日、感想などが書かれたお礼の手紙を頂きましたので抜粋して紹介します。



<本のカバー掛けをする3人>



<カウンター業務体験>

西田姫乃さんからのお手紙抜粋

私は今回の体験で初めて知ったことがたくさんありました。中でも学んだことは、カバーかけや、本の整理など裏でたいへんな仕事がたくさんあるということです。

この暑さは、まだしばらく続きそうです。くれぐれもご自愛ください。

金井真綺さんからのお手紙抜粋

先日は、私たちの職業体験学習にご協力いただきありがとうございました。今回の体験で初めて知ったことが沢山ありました。中でも観光や、バスの時刻などにも力を入れてお客様からの質問にできるかぎり答えるというおもてなしの心はすごく心に残りました。今回の体験を生かして、自分の将来の夢を見つけたいと思います。

石塚奏汰さんからのお手紙抜粋

先日の二日間は、職場体験をさせていただきありがとうございます。二日間の体験の中で印象に残っていることは、書庫の整理と本のカバーかけです。どちらも図書館で仕事をしなければできない貴重な体験で、やらせていただきありがとうございました。これからは、図書館を利用していきたいと思います。

業務部会のサポーターさんとの交流もあり、本の配架や書架整理のやり方などを指導して頂きました。3人にとって、将来のことを考える良い機会になってくれればうれしいなと思います。



ミミールの会

代表者 菅沼 一子

お話広場で紙芝居や手遊びで、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごさせていただいているミミールの会です。

私たちは、小さいお子さんから大人の方まで楽しめる、この地方に伝わる民話を紙芝居にして上演しています。上演場所は保育園・小中学校・公民館等町内外を問わず、どちらへでも伺います。

このミミールの会の起こりは、30 数年前にさかのぼります。戸沢地区にお住まいだった宮島清先生の“地域の皆さんと紙芝居を作り上演したい”との声かけに 5 組ほどの親子が集まり、喫茶店ミミールの二階で絵を描いたり、上演をしてきました。現在は宮島先生も亡くなり、喫茶店ミミールを使うことも無くなり、当初からのメンバー 1 人を残し、今は 5 人で福祉センターを拠点に活動しています。紙芝居の題材は、宮島先生のお書きになった物・傍陽にお住まいだった、堀内信孝氏の遺作を大型紙芝居に描きなおすなどして制作し、皆さんから大変見やすいと好評です。また、こんな話があったのかと、驚かれたりしています。

私たちは、一年に一作は作り上げることを目標に、個人の持ち味を生かし、智恵を出し合い、和気あいあいと楽しく活動しています。今後は、地域の伝わっているお話をみなおしたり、現地を訪れたりし、真田の地をもっと知りたいと皆で話しているところです。

お年寄りの方などから聞いたお話がありましたら、ご一報ください。また、上演希望の方もお知らせください。



< 図書館おはなし広場での紙芝居の上演 >



七夕、それぞれの願い事

今年も館内に七夕飾りを展示しました。願い事が書かれた短冊は 284 枚、その中からいくつか抜粋して掲載させていただきます。(名前や個人を特定されるものは掲載致しません m(_)_m)

さかさまつ毛が
よくなりますように

「コメント」
まつ毛が長くてかわいいんだね。痛いよねさかさまつ毛

歯がぬけますように

「コメント」
ぐらぐらしてるのかな？抜けた歯は床の下、それとも屋根の上？

とにかくあと1週間で
3千円欲しい。本当にお願い
します。

「コメント」
切実さが伝わってくる。使い道
も気になる。

おもしろい本に
出会えますように

「コメント」
一冊の本との偶然の出会い
は、ある意味奇跡だね。

私の人生に虹が
かかりますように

「コメント」
人生晴れる日もあれば、雨
の日もあるよね。希望多き
人生でありますように。

全てなかったことに
なりますように

「コメント」
何をしかしてしまったの？
時が解決してくれるのを待
ちましよう。

上田バス(株)

「コメント」
上田バスに乗りたい？上田
バスが好き？運転手になり
たい？どれ？気になる！

樋口が欲しい
(お金の方)

「コメント」
福沢諭吉よりも樋口一葉
を欲しいなんて奥ゆかし
い？

休日にいっぱい寝ても、た
たき起こされませんように

「コメント」
休みの日ぐらいいっぱい
寝たいよね。たたき起こす
人に懇願してみて！



図書館新人職員紹介

なかじま みちこ

中島 美智子 (平成 30 年 4 月より勤務)

一言: 本を通じた地域の交流の場にもなるよう
心掛けていきたいと思います。

住所: 上田市真田町長(真田) 血液型: O 型

趣味: 和裁、洋裁、雅楽、ピアノ

自分の性格: 頑固 ?!

座右の銘: 笑う門には 福来たる



しみず

清水 あゆみ(平成 30 年 9 月より勤務)

一言: 大好きな本に囲まれてお仕事ができて幸せです。
皆様のお役にたてるよう頑張りたいと思います。

住所: 上田市下之条 血液型: O 型

趣味: ピアノ

性格: ほんわか

座右の銘: 特になし



真田図書館これからの主な行事予定

リサイクル本の受入

11 月 24 日(土)、25 日(日) 午後 1 時 ~ 4 時

家庭で読み終えた本をお預かりし、図書館まつりの本のリサイクル市に出す準備です。

図書館まつり

12 月 1 日(土)午前中 おはなし広場、本のリサイクル市、もちつき大会等

・・・編集後記・・・ 開館して 8 年目を迎えた真田図書館は、地域の皆様のご支援とご協力もあり蔵書が 66,000 冊を超えました。来館者数も増え、貸出冊数でも年々増加し、たくさん利用して頂いています。人と、本を結び、人と人、人と本が出会う場所として地域のコミュニティーと絆になりつつあります。佐藤一斎は「言志四録」で「少にして学べば、則ち壮にして為すこと有り。壮にして学べば、則ち老にして衰えず。老いて学べば、則ち死して朽ちず」と述べ、生涯において学ぶ意欲を持つことを薦めました。読書の秋です。冷暖房完備で静かな真田図書館へ出かけ本を読み学びを深めましょう。

(文責 小金敏展)